

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 23 日
研究・研修課題名	緩和薬物療法認定薬剤師の新規認定取得・認定更新に係る日本緩和医療薬学会教育セミナーへの参加
研究・研修組織名(所属)	薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	土江晴江
研究・研修実施者名(所属)	土江晴江、土井教雄、中元隆浩(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	土江晴江、土井教雄、中元隆浩(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	日本緩和医療薬学会 ・第 14 回日本緩和医療薬学会年会 2021/5/13~16 (web 開催) ・第 24 回教育セミナー 2021/5/13~10/31 (web 開催) ・第 25 回教育セミナー2021/11/01~2022/4/30 (web 開催) 認定名：緩和薬物療法認定薬剤師
演題名・認証交付元等	日本緩和医療薬学会
取得日・認定期間等	土井教雄 (取得日：2016 年 4 月 1 日、更新日：2021 年 4 月 1 日) 認定期間：2021 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日 土江晴江 (取得日：2017 年 4 月 1 日、更新日：2022 年 4 月 1 日) 2022 年 4 月 1 日~2027 年 3 月 31 日
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

緩和ケア診療加算では、緩和ケアに係る専従チーム(医師 2 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名)での診療が必須であり、**薬剤師は緩和薬物療法認定薬剤師が望ましい**とされている。近年、がん治療の初期段階から緩和ケアが並行して行われ、外来で医療用麻薬が開始となるケースが年々増加している。在宅で適切な緩和ケア治療が行われるためには病院薬剤師と薬局薬剤師のさらなる連携体制が不可欠と考えられ、当院では医療用麻薬を使用している患者の苦痛緩和と治療向上を目的に、院外保険薬局と「服薬情報提供書」を用いた運用を開始し双方向の関係性構築を図っている。

以上より、

そこで、日本緩和医療薬学会の年会や教育セミナーに参加し、緩和薬物療法認定薬剤師の資格更新や新規認定取得を目指すと共に、当院における緩和医療のさらなる充実に貢献することを目的とする。

方法

第 14 回日本緩和医療薬学会年会および第 24 回、第 25 回教育セミナーへ参加した(web 開催)。

② 成果

学会年会と教育セミナーを受講したことにより、日本緩和医療薬学会認定の緩和薬物療法認定薬剤師の取得、更新のための単位(32 単位)を取得することができた。土江晴江は本年度認定更新試験に合格した。認定期間は 2022 年 4 月 1 日~2027 年 3 月 31 日である。土井教雄は 2026 年度に認定更新を予定しており、中元隆浩は資格取得を目指している。

講演を聴講することで緩和薬物療法認定薬剤師に必要な最新の知識を習得することができ、研修内容を薬剤部内で報告することにより緩和薬物療法における薬剤部員全体の知識向上に寄与できたものとする。